

冷媒用代替フロン使用状況等報告書

（宛先）京都府知事		2024年7月31日			
住所（法人にあっては、主たる事務所の所在地） 京都市北区上賀茂本山		氏名（法人にあっては、名称及び代表者の氏名） 学校法人京都産業大学 理事長 山田 啓二			
前年度に保有していた冷媒用代替フロンを使用した第一種特定製品の台数等	第一種特定製品の種類	前年度			
		年度当初の保有台数	整備台数	廃棄台数	年度末の保有台数
	エアコンディショナー	964 台	4 台	42 台	965 台
	冷蔵機器及び冷凍機器	49 台	0 台	3 台	49 台
前年度に第一種特定製品に充填及び回収を行った冷媒用代替フロンの量	第一種特定製品の種類	代替フロン充填量		代替フロン回収量	
	エアコンディショナー	811.39	キログラム	712.9	キログラム
	冷蔵機器及び冷凍機器	6	キログラム	17.48	キログラム
冷媒用代替フロンの漏えい防止のための冷媒用代替フロン使用機器の管理体制	使用時	・府内の事業所で所有している冷媒用代替フロン使用機器の簡易点検マニュアルを作成し、それに基づき簡易点検を実施している。 ・自らが管理する第一種特定製品についてはエクセルシートを用いて点検記録の保存を行い、適宜入力を行っている。			
	廃棄時	・府内の第一種特定製品の廃棄時には、当該機器のフロン管理担当者が府の登録を受けた第一種フロン類充填回収業者に冷媒用代替フロンの回収を依頼するよう、マニュアルにまとめ運用している。 ・廃棄後も点検記録簿の保存をエクセルシートを用いて管理しており、適宜入力している。			
冷媒用代替フロンの漏えい防止のための取組の実施状況	使用時	・府内の事業所で管理しているエアコン室内機に対して、フィルタの清掃に併せて試運転を実施し、異音の発生等がないか確認した。			
	廃棄時	・充填回収業者から破壊証明書が回付されたことを確認し、第一種特定製品の廃棄時に回収された冷媒用代替フロンが適切に処理されたことを確認した。			
ノンフロン製品又は地球温暖化係数が低い冷媒の製品の導入方針	・第一種特定製品を更新する際は、現状で地球温暖化係数が最も低い冷媒を使用した製品（トップランナー機器）を導入する。				
特記事項					

注 1 「代替フロン」とは、地球温暖化対策の推進に関する法律施行令（平成11年政令第143号）第1条に規定するハイドロフルオロカーボン（HFC）をいいます。

2 「第一種特定製品」とは、フロン類の使用の合理化及び管理の適正化に関する法律（平成13年法律第64号）第2条第3項に規定する機器をいいます。